

「未知への挑戦」とくしま行動計画（素案）の概要

第1章 計画の基本的な事項

1 計画策定の趣旨

- 徳島県では、平成27年度から平成30年度までの4年間の県政運営指針として、平成27年7月、“一歩先の未来”の具現化を掲げた「新未来『創造』とくしま行動計画」を策定しました。
- この間、地方創生の先導役として、消費者庁等の「消費者行政新未来創造オフィス」の本県への開設や新次元の消費者行政・消費者教育の展開、大都市圏からの人の流れを生む出す「とくしま回帰」の加速、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用した情報通信関連企業やサテライトオフィスの集積、LEDを基軸とする産業振興や6次産業化のさらなる推進など、全国モデルとなる各種施策に取り組み、「一歩先の未来」を着実に具現化してきました。
- 我が国が、「人口減少」と「災害列島」という国難とも呼べる課題に直面し、第4次産業革命の進展や巨大経済圏の形成をはじめ、国内外の社会環境が劇的な変化を見せるなど、これまでの常識が通用しない「未知の世界」が眼前に広がる時代を迎え、「地方創生の旗手」と呼ばれた徳島こそが「未知の世界」に挑戦し、「地方創生」から「日本創生」を成し遂げ、日本全体を「持続可能な社会」へと導くことが期待されています。
- 「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代の幕が開ける中、徳島ならではの「知恵と工夫」に一層の磨きをかけ、こうした期待に応える道標として、本県が目指すべき将来の姿と、その実現に向けて今後4年間で取り組む施策を示す

「『未知への挑戦』とくしま行動計画 ～徳島版『SDGs（持続可能な開発目標）』の実装に向けて～」

を策定するものです。

2 計画の基本理念

- 基本理念は、「**国難打破！未知の世界への羅針盤・とくしまの実現**」です。
- 「一歩先の未来」を具現化し、「地方創生の旗手」と呼ばれた徳島こそが国難を打破し、日本全体を「持続可能な社会」へと導いていく、「未知の世界への羅針盤・とくしま」づくりを進めます。

3 計画の性格

- 「『未知への挑戦』とくしま行動計画」は、県政運営指針として、県が進める政策の基本的な方向をまとめたものであり、「徳島県版・総合戦略[※]」をはじめとする個々の計画に対し、最上位の総合的な計画として、毎年度の予算編成や事業の立案などの基本となるものです。

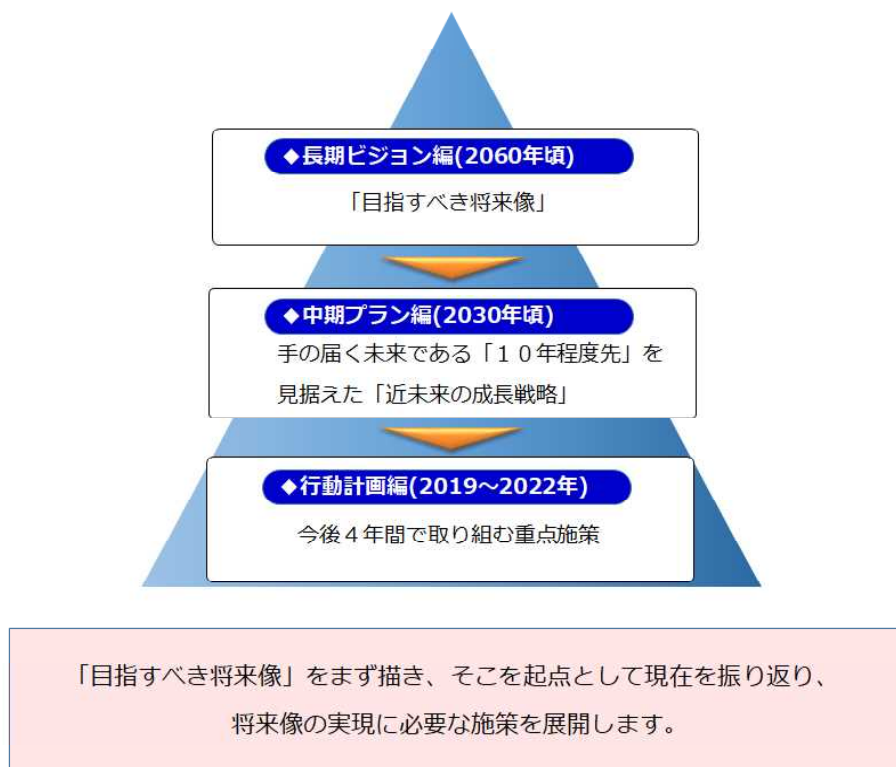
4 計画の構成

■ 『『未知への挑戦』とくしま行動計画』では、

- ・本格的な人口減少社会の到来やグローバル化・ボーダレス化の加速など、本県を取り巻く環境が大きく変化する中、長期的な視野に立って、本県の現状や今後の課題を的確に把握したうえで、県民と共有する「徳島の目指すべき将来像」を示す「**長期ビジョン編**」
- ・「長期ビジョン編」を踏まえ、手の届く未来である「10年程度先」を見据えた「近未来の成長戦略」である「**中期プラン編**」
- ・「中期プラン編」を達成するために今後4年間で取り組む重点施策を、具体的な数値目標や達成年度などの工程で明示した「**行動計画編**」

の**三層構造**からなり、今後の県政を計画的に推進していくための基本となります。

【計画の構成イメージ図】



第2章 長期ビジョン編（2060年頃の目指すべき将来像）

1 時代の潮流（世界～日本～徳島）

- （1）人口移動・人材獲得競争時代の到来
- （2）地球環境問題の深刻化と高まる自然災害リスク
- （3）加速する「Society5.0」の実装
- （4）加速するグローバル化・ボーダレス化
- （5）「東京2020オリンピック・パラリンピック」レガシーの創造
- （6）世界が共有「持続可能な社会」の実現

2 将来ビジョン（2060年頃の姿）

（1）未知なる社会へ挑戦「かがやく とくしま」

一人ひとりが夢や希望を持ち、その実現に向かって、
誰もが輝くことのできる徳島

（2）未知なる課題を超越「しなやか とくしま」

いかなる困難もしなやかに乗り越え
強靱で、経済や環境とも調和した持続可能な社会・徳島

（3）未知なる魅力を創造「ときめく とくしま」

未来を切り拓くひとが育ち・集い・輝くことで、ひとを惹きつける
新たな価値や魅力を創造する徳島

1 目指すべき姿（10年程度先）と施策の方向性

計画の基本理念に基づき将来ビジョンを実現するために、手の届く未来である「10年程度先」（2030年頃）を見据えた3つの「目指すべき方向性」の実現を目指します。

3つの目指すべき方向性

I 「安全実感！強靱とくしま」の実現

- 1 「地方創生先導・とくしまづくり」
- 2 「笑顔で子育て・とくしまづくり」
- 3 「安全強靱・とくしまづくり」
- 4 「健康長寿・とくしまづくり」
- 5 「くらし安心・とくしまづくり」
- 6 「脱炭素実現・とくしまづくり」
- 7 「循環共生・とくしまづくり」

II 「多様性実感！共生とくしま」の実現

- 1 「未来人材育成・とくしまづくり」
- 2 「誰もが活躍・とくしまづくり」
- 3 「広がるダイバーシティ・とくしまづくり」
- 4 「革新実装・とくしまづくり」
- 5 「ブランド進化・とくしまづくり」
- 6 「経済好循環・とくしまづくり」
- 7 「いきいき働く・とくしまづくり」

III 「魅力実感！輝きとくしま」の実現

- 1 「誘客万来・とくしまづくり」
- 2 「近未来創造・とくしまづくり」
- 3 「あわ文化創造・とくしまづくり」
- 4 「スポーツ王国・とくしまづくり」
- 5 「障がい者カルスポ・とくしまづくり」
- 6 「スポーツレガシー・とくしまづくり」
- 7 「文化レガシー・とくしまづくり」

第4章 行動計画編（今後4年間で取り組む重点施策）

1 「5つのターゲット」と重点戦略

目指すべき方向性（10年程度先）の実現に向け、「5つのターゲット」を掲げ、重点戦略を展開します。

「5つのターゲット」と「重点戦略」

1 未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

- 1 移住交流拡大！深化する地方創生
- 2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開
- 3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開
- 4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進
- 5 次代へつなぐ！少子化対策の推進

2 未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装

- 1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進
- 2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ
- 3 「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化
- 4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進
- 5 野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進

3 未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装

- 1 全国を先導！第4次産業革命の実装
- 2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客
- 3 世界へ雄飛！深化する徳島ブランドの展開
- 4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造
- 5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ

4 未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装

- 1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承
- 2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化
- 3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承
- 4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化
- 5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開

5 未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装

- 1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進
- 2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装
- 3 自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開
- 4 徳島発！持続可能な行政手法の発信
- 5 近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ

2 「『未知への挑戦』とくしま行動計画」とSDGs

持続可能な環境や社会の実現に向け、2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献するため、当計画に掲げた重点施策とSDGsとの対応関係を明らかにし、徳島ならではの取組みを着実に推進します。

◆SDGsの17の目標

- ①あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- ②飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- ③あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- ④すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- ⑤ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
- ⑥すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- ⑦すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- ⑧包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- ⑨強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- ⑩各国内及び各国間の不平等を是正する
- ⑪包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- ⑫持続可能な生産消費形態を確保する
- ⑬気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- ⑭持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- ⑮陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- ⑯持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- ⑰持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



「行動計画編(今後4年間で取り組む重点施策)」とSDGsの対応関係

「行動計画編」に掲げる重点施策		SDGsの17の目標																
5つのターゲット	重点戦略	① 貧困	② 飢餓	③ 保健	④ 教育	⑤ ジェンダー	⑥ 水・衛生	⑦ エネルギー	⑧ 経済成長と雇用	⑨ イノベーション	⑩ 不平等	⑪ 都市	⑫ 生産・消費	⑬ 気候変動	⑭ 海洋資源	⑮ 陸上資源	⑯ 平和	⑰ 実施手段
1 未来へ雄飛！ 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装	1 移住交流拡大！深化する地方創生		●	●	●				●	●	●	●	●			●	●	
	2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開			●	●	●			●			●						
	3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開		●	●	●				●									
	4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進			●	●	●			●		●	●	●				●	●
	5 次代へつなぐ！少子化対策の推進	●		●	●				●								●	
2 未来へ加速！ 「強靱とくしま・安全安心」の実装	1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進			●	●	●		●	●	●		●	●	●			●	●
	2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ		●				●			●		●		●		●		
	3 「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化			●								●						
	4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進	●	●	●	●				●		●	●	●	●			●	
	5 野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進												●			●		●
3 未来へ挑戦！ 「発展とくしま・革新創造」の実装	1 全国を先導！第4次産業革命の実装				●				●	●		●		●			●	
	2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客				●		●		●	●		●	●			●		
	3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開		●		●			●	●	●		●	●	●	●	●		
	4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造	●		●	●				●		●	●	●				●	●
	5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ	●			●	●			●	●		●	●	●	●			
4 未来へ発信！ 「躍動とくしま・感動宝島」の実装	1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承				●				●	●		●					●	
	2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化		●	●	●	●			●			●	●				●	
	3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承			●	●			●	●					●			●	
	4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化			●	●						●							
	5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開				●	●			●			●						
5 未来へ継承！ 「循環とくしま・持続社会」の実装	1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進		●		●		●	●	●	●		●	●	●	●	●		
	2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装							●	●	●			●	●				
	3 自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開		●	●	●		●	●		●		●	●	●	●	●		●
	4 徳島発！持続可能な行政手法の発信			●	●			●	●	●		●	●				●	●
	5 近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ								●		●	●						

3 工程表（「ターゲット」ごとの主な施策と目標）

「行動計画編」本文（主要事業実施工程表）の見方

<記載例>

主要事業実施工程表（1-1 移住交流拡大！深化する地方創生）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	2019	2020	2021	2022
2 若者に魅力ある「しごと」づくり				
主要指標 ○光関連産業の雇用創出数（累計） 13,500人				
● 地方大学・地域産業創生事業により、次世代LED等を活用した新製品を開発し、県内の光関連産業の活性化を図ることで雇用創出を推進します。＜政策・商工＞	推進			
○光関連産業の雇用創出数（累計） （'17）11,200人→（'22）13,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人

「主要施策」：重点戦略を進める上で主要となる施策。

「主要指標」：主要施策に掲げた個々の数値目標の中で、その施策の達成度合を示す主な指標。

●は、具体的な主要事業の概要と担当部局を＜＞で記載。
＜政策＞ 政策創造部

○は、計画期間4年間（2019年から2022年まで）における数値目標。
（'17）は基準値として2017年度（末時点）の実績を表記。

各年度毎の数値目標を表記

ターゲット 1

未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

若者の「とくしま回帰」や「消費者庁等徳島移転」の推進をはじめ地方創生をさらに深化させるとともに、生涯を通じた学び直しや活躍を支援し、年齢や性別、障がいの有無、国籍に関係なく、個性を発揮して自己実現できる「ダイバーシティとくしま」を推進するなど、県民誰もが輝くことができる「笑顔とくしま・県民活躍」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 移住交流拡大！深化する地方創生		
○移住者数	1, 200人	1, 800人
○光関連産業の雇用創出数(累計)	11, 200人	13, 500人
○本県への本社機能誘致(累計)	4社	12社
◆重点戦略2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開		
○(まなびーあ徳島)主催講座受講者数	96, 668人* *過去4年平均	100, 000人
○県内でテレワークを実施する事業所数(累計)	52事業所	120事業所
◆重点戦略3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開		
○健康寿命	('16)男性71.34歳 (16)女性74.04歳	延伸
○「シルバー人材センター」の派遣従事者の割合	12.2%	14%
○主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数(累計)	39人	240人
◆重点戦略4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進		
○パーキングパーミット利用可能駐車台数	1, 117台	1, 240台
○(障がい者)施設利用者の平均工賃全国順位	全国2位	全国1位
○県内大学等への留学生受入数	399人	500人
◆重点戦略5 次代へつなぐ！少子化対策の推進		
○結婚支援拠点が管理する男女の出会いの場等への参加者数(累計)	2, 310人	10, 000人
○待機児童数	94人	('21)ゼロ

ターゲット 2

未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装

平時から被災時の速やかな復旧・復興に備える「事前復興」の取組みを推進し、国土強靱化や県民の命と健康を守る取組みをさらに加速させるなど、未知なる災害や脅威に対して、県民の安全安心な暮らしをしなやかに守りぬく「強靱とくしま・安全安心」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進		
○「防災士」登録者数(累計)	2, 4 8 9 人	3, 8 0 0 人
○D M A T の体制整備	2 8 チーム	3 2 チーム
○「福祉避難所」指定施設数	1 6 7 施設	2 5 0 施設
◆重点戦略2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ		
○「臨時情報」を活用した「防災対応」の計画策定市町村数	—	('20)全市町村
○四国横断自動車道(徳島JCT～徳島東間)の整備	工事促進中	('21)供用
○吉野川上流無堤地区への事業着手	2 箇所	5 箇所
◆重点戦略3 「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化		
○「海部・那賀モデル」の実装	—	全県展開
○がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	('16) 7 3 . 3	減少
○難病医療機関数	1, 0 3 0 機関	1, 4 4 2 機関
◆重点戦略4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進		
○消費者庁等機能移転	試験移転	全面的移転
○自殺死亡率(人口10万人当たり自殺者数)	1 6 . 4	1 3 . 0 以下
○助けられる犬・猫の殺処分数	3 9 8 頭	2 4 0 頭
◆重点戦略5 野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進		
○野生鳥獣による農作物被害額	1 1 1 百万円	8 2 百万円

ターゲット 3

未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装

I o T、ビッグデータ、A Iといった革新技術の社会実装を産業や暮らしのあらゆる分野で加速させるとともに、新産業の創出や県内企業・県産品のグローバル展開を推進し、未来を担う人材育成の取組みを深化させるなど、新たな価値創造によって未知なる社会を創り出す「発展とくしま・革新創造」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 全国を先導！第4次産業革命の実装		
○とくしまIoTプラットフォーム活用事例数(累計)	—	50件
○情報通信関連企業の奨励指定による集積数	38事業所	54事業所
○「とくしま丸ごとAIコンシェルジュ」(仮称)の開設	—	('20)開設
◆重点戦略2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客		
○県内への外国人延べ宿泊者数(暦年)	102,810人	168,000人
○観光入込客数	1,951万人	2,070万人
○クルーズ来県者数(直近4年の累計)	26,636人	70,000人
◆重点戦略3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開		
○LED応用製品開発支援件数(累計)	168件	290件
○農畜水産物産出額	1,224億円	1,330億円
○(中小企業分)徳島県の輸出額	('16)175億円	249億円
◆重点戦略4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造		
○高校生の留学者数(7日以上)	174人	240人
○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率(国語・算数<数学>)	全国平均正答率以上	全国平均正答率以上
○県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職希望生徒の就職率	100%	100%
◆重点戦略5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ		
○とくしま経済飛躍ファンドにより支援した製品の売上額(累計)	6,717百万円	9,100百万円
○成長分野関連企業等の奨励指定における立地数(累計)	69社	110社
○テカスクール訓練生の技能照査合格率	77.7%	81.0%

ターゲット 4

未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装

世界に誇る「あわ文化」の深化を図り、世界に飛躍するアスリートの育成強化に取り組むとともに、県民誰もが身近に文化やスポーツに親しめる環境づくりを加速させ、文化やスポーツを通じた本県の魅力発信がひとを惹きつけ、賑わいと活力に満ちあふれた「躍動とくしま・感動宝島」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承		
○徳島版「加チヲルオビ」アート(仮称)の開催	—	('19)～('21)開催
○LEDデジタルアートとの融合によるナイトタイムイベントの開催	—	('20)開催
○「初」世界に誇る(記憶遺産)への申請・登録	—	('20)申請・('21)登録
◆重点戦略2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化		
○「東京2020オリンピック・パラリンピック」における事前キャンプの誘致数	—	('20)4件
○国民体育大会天皇杯順位	46位	毎年30位台
○公式オリンピック関連イベントへの県産食材提供品目数(累計)	—	('20)8品目
◆重点戦略3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承		
○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数(累計)	—	16件
◆重点戦略4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化		
○「パラスポーツ人材バンク(仮称)」の創設	—	('20)創設
◆重点戦略5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開		
○文化の森総合公園文化施設入館者数(年間)	814,816人	81万人
○「未来型スポーツ環境創造プロジェクト」の推進	—	基本構想等策定

ターゲット 5

未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装

「エシカル消費」をはじめ、脱炭素社会の実現に向けた「緩和策」と「適応策」の推進や、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組みを加速するとともに、人口減少時代における「新しい自治体像」の構築に取り組むなど、持続可能な社会を未来へと継承する「循環とくしま・持続社会」の実装に向け、5つの重点戦略を展開します。

5つの重点戦略（主な「主要指標」）

主要指標	現状値('17値)	目標値('22値)
◆重点戦略1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進		
○「とくしまEcoパートナー」の協定締結企業・団体数(累計)	5企業・団体	30企業・団体
○「公的管理森林」面積(累計)	6,152ha	12,300ha
○「食品ロス削減モデル」の構築	－	('21)構築
◆重点戦略2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装		
○自然エネルギーによる電力自給率	26.7%	30.5%
○「燃料電池バス」の本県導入	－	('20)導入
◆重点戦略3 自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開		
○プラスチックごみの資源循環に積極的に取り組む市町村数	－	全市町村
○污水处理人口普及率	60%	72%
○「コトリ里親センター(仮称)」の設立	－	('21)設立
◆重点戦略4 徳島発！持続可能な行政手法の発信		
○地方創生を実現する「政策提言」の実現比率	77%	70%以上
○実質公債費比率	14.6%	('19)13.0%程度
○既存ストック有効活用事例数(累計)	33件	38件
◆重点戦略5 近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ		
○阿佐東線へのDMV導入	－	('20)導入

4 計画の進行管理と見直し

県民ニーズや社会・経済・財政の様々な事情の変化に的確に対応し、計画の円滑な推進を図るためには、計画の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行う必要があります。

このため、

- 点検評価サイクル（いわゆる「PDCAサイクル」）による政策評価の手法を活用し、事業の「必要性」（県民ニーズの状況、廃止・休止した場合の影響）や「目的妥当性」（県が取り組む妥当性があるかどうか）等の観点から見直しを行うとともに、
- 高校生等との対話集会を通じて寄せられた「若者意見」を積極的に県政に反映するなど、
- 計画策定以降の「急激な環境変化」や「新たな課題」に対しても、常に「進化する計画」として、大きく修正や追加すべき必要な点は、見直しの中で新たに盛り込み、「実効性のある計画」として県民ニーズに即応していきます。

PDCAサイクル

具体的な目標を定め（**P**lan：企画）

それに沿った活動を行い（**D**o：実施）

その結果を目標と照らし合わせて点検し（**C**heck：評価・検証）

次年度の新たな企画立案に反映していく（**A**ction：改革・改善）

併せて、第三者機関である「県政運営評価戦略会議」等において、計画に位置づけられた施策や数値目標の達成状況などについて、「より県民目線に立った客観的な評価」を行っていただきながら、毎年度、計画の改善見直しを行います。